

平成 26 年度 瑞穂区区政運営方針の取り組み結果

1 瑞穂区の魅力が輝くまちづくりをすすめます		
(1) 個性と魅力を活かすまちづくりの推進		
指 標	26 年度目標	実績
区民アンケート 「瑞穂区が魅力的なまちだと思う人(※)」 の割合	90%以上	89.5%
瑞穂区産業 PR 事業参加者アンケート 「瑞穂区の魅力のひとつが産業文化だと 感じた人」の割合	95%以上	100%

※「思う」「まあまあ思う」と回答した方

主な取り組み

取り組み名	26 年度実施内容	所管
サクラのまち瑞穂づくり (さくら写真展、さくらス イーツコンテスト、山崎川 のライトアップ、開花状況 の区ホームページ等での 発信 など)	<p>【さくら写真展】 花の苗配布、ミニコンサートの開催など新しい試みを行なった結果、来場者数が前年実績を大きく上回りました。また、1 年を通して区内郵便局、中日ビルなど区内外において巡回展を開催しました。</p> <p>【さくらスイーツコンテスト】 桜や瑞穂区マスコットキャラクター「みずほっぺ」をモチーフにしたスイーツのコンテストを開催しました。区内外から 41 作品の応募があり、グランプリ作品は桜の開花時期に、山崎川沿いの洋菓子店で販売されました。</p> <p>【山崎川のライトアップ】 平成 27 年 3 月 28 日から 4 月 6 日までの期間、かなえ橋から下流の約 120m の区間を、投光器 78 器でライトアップしました。</p> <p>【開花状況の区ホームページ等での発信】 桜の開花時期にツイッターやホームページで開花状況を発信しました。</p>	まちづくり推進室・土木事務所

瑞穂区産業文化 PR	夏休み期間に、区内小学生を対象にバスツアーを2回実施（定員各回20名、フジパングループ本社(株)、日本ガイシ(株)、ブラザー工業(株)の見学）し、定員を大幅に上回る応募があり、抽選の上開催しました。	まちづくり推進室
音楽による地域のにぎわいづくり	10月に東山荘、27年2月に名古屋市立大学滝子キャンパス、3月に同大学田辺通キャンパスにおいてコンサートを実施し、各回100～250名の来場がありました。10月の回は瑞穂ライオンズクラブに協賛いただき、2月の回は多文化共生推進モデル事業の一環として実施、3月の回はさくらスイーツコンテストのグランプリ作品のお披露目などを行いました。	まちづくり推進室
瑞穂区の魅力発信イベントの開催	瑞穂区に本拠地を置く名古屋グランパスの試合観戦を含めた婚活パーティーを実施しました。試合観戦後は、グランパスの選手や「みずほっぺ」、「グランパスくん」と記念撮影しました。20組40名に参加していただき11組のカップルが成立しました。	まちづくり推進室
瑞穂区史跡散策路マップの活用	瑞穂区内の歴史や文化を身近に体験してもらうための散策コースを案内する瑞穂区史跡散策路のマップを改訂・印刷しました（1,000部発行）。	まちづくり推進室
「なごや学マイスター講座」の開催	前期に「レトロな瑞穂マイスター」、後期に「みずほ史跡マイスター」を養成する講座を開催しました。前期は3名、後期は7名をマイスターとして登録し、その後の活動につなげることができました。	生涯学習センター
「なごや学講座」の開催	前期に1講座（施設）、後期に2講座（産業文化、遺跡）を実施し、区の魅力について学んでいただきました。また、「さくらスイーツ」を広めるために、親子で一緒に作る事業を行いました。	生涯学習センター

1 瑞穂区の魅力が輝くまちづくりをすすめます

(2) 地域とともにすすめるまちづくりの推進

指 標	26 年度目標	実績
地域の事業やイベントに参加した人の割合	60%	57.8%

主な取り組み

取り組み名	26 年度実施内容	所管
瑞穂区民まつり 2014 の開催	8 月 2 日に瑞穂公園（メイン会場）、生涯学習センター（サテライト会場）において、区民まつりを開催しました。区内の各種団体の出展、女性会による大盆踊り大会、お楽しみ抽選会の他、初めて「みずほっぺスタンプラリー」を実施しました。	まちづくり推進室・生涯学習センター
「ヤングサポーターみずほ」の活動支援	高校生の活動実績：交通安全、環境活動、青少年育成等の地域貢献活動のほか、区民まつりにブース出展するなど運営に協力しました。「ヤングサポーターみずほ」と区役所の共催イベントは雨天のため中止となりました。	まちづくり推進室
学生との協働による区の魅力発信	名古屋市立大学の学生との協働により、区ホームページのコンテンツのひとつとして、ブログで 17 件の瑞穂区の魅力を紹介しました。	まちづくり推進室
町内会・自治会活動への加入促進の支援	「広報なごや」に記事を掲載し、市作成のリーフレットを「ようこそ名古屋」に挟み込んで転入者に交付したほか、区役所で作成した「町内会・自治会加入のお願い」を、4月の区政協力委員協議会で紹介し地域で活用していただきました。	まちづくり推進室
環境学習会運営支援事業	学区主催の環境学習会を対象に、講師派遣や情報提供などの運営支援を7学区で行いました。	まちづくり推進室
ソーシャルメディア講習会の開催	地域コミュニティ活性化のためのソーシャルメディア活用をテーマに、学区の役員のみなさんなどを対象に講習会を、名古屋女子大学短期大学部の協力のもと開催しました。各学区の方 21 名、学生 15 名に参加していただきました。	まちづくり推進室
生涯学習センターで活動する自主活動グループの支援	生涯学習センターが主催する講座の講師となっただき、学習成果を還元する機会になりました。また、自主グループ講座を9講座、1日体験教室を2回開催しました。	生涯学習センター
生涯学習センターまつり、春のこどもまつりの開催	生涯学習センターで活動する自主グループや、多くの地域の方々の協力のもと、生涯学習センターまつりを 10 月 25・26 日に、春のこどもまつりを 3 月 8 日に開催しました。	生涯学習センター

<p>公園愛護会・街路樹愛護会・川を美しくする会の支援</p>	<p>12月と2月に公園愛護会交流会を開催し、愛護会活動の促進を図りました。また11月には、茨木第一公園にて植栽イベントを行い、市民の公園への愛着増進を図り、愛護会募集の呼びかけを行いました（延50人参加）。</p>	<p>土木事務所</p>
<p>歩道橋ネーミングライツ、街路灯パートナーの普及</p>	<p>広報なごや区版に記事を掲載するとともに、機会を捉えて普及につとめ、新たに街路灯4器でパートナーとなっただくことができました。</p>	<p>土木事務所</p>

2 安心・安全で快適なまちづくりをすすめます

(1) 災害に強い安心なまちづくりの推進

指 標	26 年度目標	実績
避難所運営リーダー研修受講者の活動数	180 回	172 回

主な取り組み

取り組み名	26 年度実施内容	所管
避難所運営リーダー主導による避難所訓練の実施	避難所運営に関する訓練を計 11 回開催し、無線の使い方、施設の安全確認、施設の使用などについて学びました。また、陸前高田市の方をお呼びし、東日本大震災の被災体験の講演と、災害時の男女平等参画についての講演を、避難所運営リーダーのフォローアップとして開催しました。	総務課
親子のための防災セミナー	小学生とその保護者を対象に「おやこ防災セミナー」を開催し、家庭での防災を親子で一緒に学ぶ機会としました。スライド授業、新聞で作る防災グッズ及び非常持ち出し品ゲームを 20 組 47 名の方に参加していただきました。	総務課
助け合いの仕組みづくり	災害時要支援者名簿を作成し、助け合いの仕組みに取り組む地域団体（4 町内会）と協定を結び、名簿の提供を行いました。	総務課
津波避難ビルの指定	津波避難ビルの基準変更による、新たな津波避難ビルの指定をしました（4 棟）。 また、既存施設についても定員を増やしました。	総務課
災害対策の充実（家庭で行う防災対策の周知・啓発など）	自主防災会による訓練の実施の支援（45 回実施） 「出張！家庭の防災教室」の実施（179 回実施）	消防署
防災に関する講座の開催	前期に風水害や震災をテーマとした主催講座を実施しました（全 6 回）。	生涯学習センター

2 安心・安全で快適なまちづくりをすすめます

(2) 安全なまちづくりの推進

指 標	26 年度目標	実績
青色回転灯パトロール実施回数	28 回以上	30 回
交通安全啓発活動実施回数	38 回以上	48 回

主な取り組み

取り組み名	26 年度実施内容	所管
防犯対策	春・夏・秋・年末の各生活安全市民運動期間中に啓発活動、街頭犯罪頻発時の青色回転灯パトロールカーによる広報活動を行ったほか、瑞穂区マスコットキャラクター「みずほっぺ」を活用した安心・安全フェスティバルを開催し啓発を行いました。	まちづくり推進室
交通安全対策の推進（瑞穂区マスコットキャラクターを活用した啓発、交通安全施設の設置）	交通事故死〇の日街頭広報、春・夏・秋・年末の各交通安全市民運動期間中に啓発活動を行ったほか、瑞穂区マスコットキャラクター「みずほっぺ」を活用した安心・安全フェスティバルを開催し啓発を行いました。	まちづくり推進室・土木事務所
歩道のバリアフリー化の推進	地下鉄瑞穂運動場東駅から新瑞穂図書館までの視覚障がい者誘導ブロックの設置を実施しました。	土木事務所
通学路安全対策の推進	歩道のない通学路において、狭幅員通学路対策（路肩カラー舗装）を実施しました。	土木事務所
路面下空洞対策の推進	空洞が判明した箇所がありませんでした。	土木事務所

2 安心・安全で快適なまちづくりをすすめます

(3) 快適な環境づくりの推進

指 標	26 年度目標	実績
区民アンケート 「犬のふんが気にならない」人の割合(※)	35%	37.0%
区内年間ごみ排出量	25 年度 (20,249t) より減	20,402t

※「気にならない」「あまり気にならない」と回答した方

主な取り組み

取り組み名	26 年度実施内容	所管
「環境デーみずほ 2014」の開催	汐路学区を中央会場として、区内全 11 学区でクリーンキャンペーン等を実施しました（参加者 1,902 人）。	まちづくり推進室
新瑞橋クリーン作戦の推進	4 月を除く 11 か月、毎月 1 回新瑞橋バスターミナル周辺の清掃活動を実施しました（延参加者 250 人）。	まちづくり推進室
水辺の生き物観察教室などの環境学習イベントの開催	<ul style="list-style-type: none"> ・「緑のカーテンづくり」講習会（5 月、瑞穂保健所、31 人） ・環境デーなごや（6 月、汐路小学校、100 人） ・山崎川の水辺の生き物観察教室（7 月、山崎川親水広場、46 人） ・環境デーなごや・区民まつり編（8 月、瑞穂公園レクリエーション広場、600 人） ・わくわくみずほまつり（9 月、瑞穂区在宅サービスセンター、200 人） の 5 回実施しました。 	保健所
「愛犬クイズラリー」の開催	11 月に、犬の散歩が多い山崎川沿道で、犬の飼い方マナーアップに関するクイズラリーを開催しました。ゴール地点ではなんでもしつけ相談や飼い主の方への健康づくりアドバイスなども行いました。	保健所
犬や猫の飼い方教室の開催	犬のしつけ方教室や猫の飼い方教室を開催し、猫の室内飼育や身元表示の推奨など、飼い主への指導及び啓発をすすめました。また、希望された方に猫の迷子札を配布しました。	保健所

河川の清掃活動	社団法人名古屋建設業協会の協力を得て、石川大橋から新瑞橋までの山崎川と沿線で、清掃及び情報収集を実施しました。	土木事務所・パ〇〇 瑞穂林〇-ツハ〇-ク
ごみ・資源の分別、適正排出の促進	環境デー、区民まつり、小学校出前講座などの機会において、ごみや資源の分別、ごみの減量、適正排出の意義について啓発活動を行いました。	環境事業所
不法投棄の防止	廃棄物の不法投棄を防止するため、注意が必要な場所の巡回パトロールを継続して行いました。	環境事業所
ごみ・資源の収集における区民サービスの向上	丁寧で確実なごみ・資源の収集の実施に努めました。また、原則として玄関先で収集する「なごやか収集」を、対象となっている世帯について実施しました。	環境事業所

3 健康でいきいきと暮らせるまちづくりをすすめます

(1) 福祉活動の推進

指 標	26 年度目標	実績
地域支えあいマップの更新に取り組んでいる学区数	11 学区	11 学区
みずほ介護フェスタの参加者数	1,500 人	1,735 人

主な取り組み

取り組み名	26 年度実施内容	所管
高齢者世帯への緊急時医療情報ツールの普及	医療情報や緊急連絡先を記載しておくことで、ご本人や周りの方が緊急時への備えとして活用できる「みずほっぺあんしん情報シート」を作製し、昭和9年3月31日以前生まれのひとり暮らし高齢者約2,000名に民生委員を通じて配付しました。	福祉課
ご近所での見守り・支えあい活動の推進	地域支え合いマップづくりは、11 学区全学区で、また区内249町内のうち224 町内で取り組みました。また、地域支え合い事業は新たに堀田学区において事業を開始し、御剣・高田・穂波と共に、地域での支えあいを推進しました。ふれあいネットワーク活動は上記の4学区に弥富学区、豊岡学区を併せ、6 学区において推進しました。また、「高齢者の見守り支援事業」として、いきいき支援センターに配置された見守り支援員が中心となり、見守りの必要な高齢者の個別相談、地域支援ネットワークづくりのほか、孤立しがちな高齢者にボランティアの協力で見守り電話を行いました。	区社会福祉協議会
地域包括ケア推進計画に基づく地域包括ケアシステムの構築	平成26年度からの5か年計画「瑞穂区地域包括ケア推進計画」において各事業を実施しました。 ① 孤立死防止：見守りにおける異変時の対応チャートを作成しました。 ② 家族介護者支援：家族介護者の集いの場「オレンジカフェみずほ」を区内福祉施設や喫茶店の協力を得て開催しました（8回延べ271人）。 認知症ケア体制：認知症の理解普及のために、専門職や認知症サポーターの協力を得て、寸劇を活用した講座を開催しました（3回）。	区社会福祉協議会

<p>福祉会館事業の実施</p>	<p>各種講座・わくわく通所事業・同好会活動支援等を行いました。(利用者数：49,926人) また、「懐かし映画会」・「懐かしの歌をうたう会」等回想法を活用した事業を12回開催しました(参加者数：589人)。</p>	<p>区社会福祉協議会</p>
<p>「みずほ介護フェスタ'14」の開催</p>	<p>介護の日を含む11月8日(土)～12日(水)の5日間開催しました。講演会や地域包括ケアをテーマとしたシンポジウム、認知症サポーター養成講座、介護施設利用者の作品展示などを実施し、1,735名の方にご参加いただきました。</p>	<p>福祉課</p>
<p>障害を理解し、お互いに助け合う地域づくりの推進</p>	<p>「防災」をテーマとして、9月に3回講演会とシンポジウムを区内3カ所の会場で行いました。合計63名の参加があり災害時の障害者支援についての理解が深まりました。 障害者の就労支援の授産製品の販売については、平成26年度に新たに1事業所が加わり、3事業所で44回実施しました。</p>	<p>福祉課</p>
<p>福祉ボランティア活動の推進</p>	<p>外出支援のお出かけ応援ボランティアの派遣調整を行うとともに養成講座を開催し、ボランティアの確保と育成に取り組みました。また、利用者として相談しやすい、ボランティアとして活動しやすいボランティアセンターの運営につとめました。</p>	<p>区社会福祉協議会</p>
<p>第3次地域福祉活動計画の推進</p>	<p>第3次計画は「住民が主体となった、地域における助け合い・支え合い活動の推進」をテーマとし、初年度となる平成26年度は、その推進体制を確立するための推進委員会を設置し、今後の事業の取り組みについて協議しました。 また、必要に応じて特定のテーマを設定したプロジェクトチーム及び検討会を設置し、各事業の具体的検討を行いました。</p>	<p>区社会福祉協議会</p>

3 健康でいきいきと暮らせるまちづくりをすすめます

(2) 子育て支援の推進

指 標	26 年度目標	実績
「さくら ひろば」の参加者アンケート 「大変良かった」「良かった」と答えた人の割合	95%以上	88%
保健所子育てサロンでの保健師による健康教育の回数	70 回	63 回
中高生の居場所づくりの参加者数	900 人	700 人
移動児童館の開設回数	12 回	15 回

主な取り組み

取り組み名	26 年度実施内容	所管
児童虐待のないまちづくりの推進	11 月の児童虐待防止推進月間を中心に、オレンジリボンキャンペーンとして啓発活動を行いました。 その例として、子ども虐待防止のメッセージで彩られたオレンジリボンツリーを区役所玄関ホールに展示したり、懸垂幕の設置、子育て中の親向けに、子育てのスキルを学んでいただく「親支援プログラム：ノーバディーズ・パーフェクト（※1）、コモンセンス・ペアレンティング（※2）」を実施しました。	民生子ども課
瑞穂区子育てサロン「さくらひろば」の実施	【民生子ども課】 原則第 1 木曜日に区役所さくらルーム等を会場として開催しました。親子の交流の場であるとともに、保健師や保育士等による相談、子育て関連イベントを実施しました。10 月にはさくらひろば特別講座として「親支援プログラム：スター・ペアレンティング（※3）」を実施しました。 【保健所】 「さくらひろば」及び地域で開催中の子育てサロンにおいて、保健師・栄養士・歯科衛生士等が毎月、出張子育て相談を実施しました。また健康教室を 63 回実施しました。	民生子ども課・保健所

子育て情報の発信	瑞穂区子育てマップを発行し、赤ちゃん訪問等で子育て家庭に配布しました。この他、子育てネットワーク「さくらっこ♪」との連携により、区内の子育て情報についてホームページで発信したり、「子育てカレンダー」の発行をしました。	民生子ども課
子どもの事故予防・心肺蘇生法の普及	保健所や地域の子育てサロンなどで心肺蘇生法の講習会を行い、事故予防・応急手当の普及啓発を図りました（360人受講）。	保健所
妊婦を対象とした「絵本の読み聞かせ」	パパママ教室において、妊婦とそのパートナーを対象に「絵本の読み聞かせ」を5回実施し、出産後、子どもとの触れ合いを大切にしながら育児ができるよう応援しました。	保健所・図書館
保健師による妊婦等へのブックスタート	育児支援が必要と思われる妊産婦に、親子で楽しめる絵本を保健師が手渡ししつつ育児の相談に応じ、母性をはぐくむとともに楽しんで子育てできるように支援しました（対象者123名中77名に配付）。	保健所・図書館
転入赤ちゃん訪問事業の実施	市の赤ちゃん訪問事業（区内在住の生後3～6か月（第1子）の赤ちゃんがいる世帯への訪問）を拡大して、1歳未満児のいる転入世帯にも実施しました。	民生子ども課
「子どもの公園マップ」の普及	区内の公園情報をまとめた「子どもの公園マップ」を母子健康手帳発行時に配付するとともに、保健所、区役所、生涯学習センターに設置・配付しました。	保健所・土木事務所
児童館事業の実施	中高生の居場所づくりは、10月より、週1回から週2回に拡大し実施しました（参加者：700名）。また、移動児童館事業は、6学区で年15回開催しました（参加者：575名）。	区社会福祉協議会

「親支援プログラム」について

※1 ノーバディーズ・パーフェクト ～完ぺきな親なんていない～

グループでの話し合いを通して、自分なりの子育ての仕方を見つけ、親としての自信が付き、子育ての仲間づくりができる講座。

※2 コモンセンス・ペアレンティング ～子どもに伝わる子育て～

「子どもが言うことをきいてくれない」「反発ばかりする」などの問題を解決するための有効な技法をロールプレイングなどを通じて学ぶ講座。

※3 スター・ペアレンティング ～親を楽しむ小さな魔法～

親自身も大切にしながら、叩かず、甘やかさず、楽しみながら子育てするための方法を学ぶ講座。

3 健康でいきいきと暮らせるまちづくりをすすめます

(3) 健康づくりの推進

指 標	26 年度目標	実績
「健康ささえ隊」への参加者数	延 33,000 人	延 32,000 人
区民アンケート 「みずほ体操」を知っている人	10%	6.3%

主な取り組み

取り組み名	26 年度実施内容	所管
高齢者サロン等における出張健康相談の実施	保健師やいきいき支援センターの職員が地域で開催されている高齢者サロン等に出向き、健康相談を実施しました。	保健所・区社会福祉協議会
「みずほ体操」の普及と「健康ささえ隊」の活動支援	区民まつりや地域の催しなど様々な場面で「みずほ体操」と「健康ささえ隊」を紹介し、普及を図るとともに、区内22か所の健康づくり会場の活動を支援しました。	保健所
男性向け健康づくり教室の実施	男性限定の5回コースの教室を実施し、筋力アップを中心とする運動に取り組みました（実55名、延213名参加）。	保健所
乳がん検診の出張検診の実施とPRの強化	瑞穂区役所及び雁道商店街で出張検診を実施しました。（2回、計84名受診）保健所が実施する健康教室での勧奨に加え、チラシの配架や区役所モニターによるPRに取り組みました。	保健所

4 みなさまに満足いただける区役所づくりをすすめます

(1) 快適な窓口サービスの提供

指 標	26 年度目標	実績
話の聴き方や質問の仕方についての満足度	97%	95.1%
わかりやすい説明についての満足度	98%	97%
窓口サービスに対する総合満足度	97%	96.5%

※上記実績は平成 26 年度 第 1 回及び第 2 回「窓口アンケート」実施結果の平均値です。

主な取り組み

取り組み名	26 年度実施内容	所管
日曜窓口の実施（実施時間の一部延長）	住所の異動届の受付をはじめ、平日来庁が難しい区民の皆さまに窓口サービスを提供することで利便性向上につとめました。また、3 月と 4 月に 1 回ずつ実施時間を延長した際に、市民課においては通常より多い人員体制で対応しました。	総務課・市民課・保険年金課・民生子ども課・福祉課
正確で迅速な住民票の写し等の交付事務	受付窓口が混雑した際は、受付待ち時間を短縮するために受付窓口を増やして対応しました。9 月の誤交付発生後、作成・点検・交付のそれぞれについて検証し、防止策をたて、再発防止につとめました。	市民課
住民票の写し等の様々な取得方法の案内	金曜予約、郵送請求、主要駅での取り次ぎサービス等多様な取得方法の周知につとめました。	市民課
保険年金課窓口におけるフロアサービス実施	混雑の緩和と待ち時間の軽減を図るため、1 年間を通して申請書の記載方法の案内などを行う、フロアサービス派遣職員を配置しました。	保険年金課
お客様満足度向上・区役所サービス向上をめざした取り組みの実施	普段の窓口対応を現地確認した上で、職員へ個別に改善箇所を指摘する「現場 OJT 研修」等を実施し、職員ひとりひとりの接客能力向上につとめました。	全課
ボランティア清掃の実施	毎月、区役所の玄関周りを中心に清掃を行いました。また、区内公所（署）の協働による一斉ボランティア清掃を年間で計 5 回行いました。	総務課・企画経理室・まちづくり推進室

4 みなさまに満足いただける区役所づくりをすすめます

(2) 広報・広聴の充実

指 標	26 年度目標	実績
区ウェブサイトコンテンツの数	487 ページ	512 ページ
区ウェブサイト総ページアクセス数 (トップページを含む総てのページ)	490,000 件	584,524 件

主な取り組み

取り組み名	26 年度実施内容	所管
広報の充実	広報なごや、区ウェブサイトについてより見やすく、内容も充実させたほか、区公式ツイッター・フェイスブックを活用し、情報の発信につとめました。	まちづくり推進室
瑞穂土木だよりの発行、名古屋市ウェブサイトへの掲載	瑞穂土木だよりを 9 月と 3 月に年 2 回発行し、市公式ウェブサイトにも掲載しました。	土木事務所
区民アンケートの実施	区政運営に関して区民のみなさまがどう感じているかを客観的にとらえ区政運営に活かすため、7～8 月に 2,000 人を対象に区民アンケートを実施し、区の自主的・主体的な予算を活用した事業等についてご意見をお聞きしました。	企画経理室
広聴事務（地域懇談会等）の実施	学区連絡協議会または女性団体協議会と区役所の共催で、区内各公所長などが出席し懇談会を実施しました（開催団体：弥富学区連絡協議会、陽明学区連絡協議会、瑞穂区女性団体協議会）。	まちづくり推進室
明るい選挙の推進	若者の政治意識向上を図るため、名古屋市立大学滝子キャンパスの市大祭の会場において、哲学者の小川仁志さんを講師としてお招きし、参加者と講師が意見を述べ合う対話型の講演会（白熱教室 in 市大祭）と、瑞穂区マスコットキャラクター「みずほっぺ」や、市大祭のメインキャラクターなどから、応援したいキャラクター 1 体を選ぶ模擬投票（キャラ応援選挙）を実施しました。 また、成人式会場（3 学区）において模擬投票を実施しました。	総務課

<p>区政推進会議の開催</p>	<p>区内公所（署）の所管事項で、区民生活に関わる事務事業の相互の連絡調整を円滑にし、区における総合行政の推進を図るため、区内公所（署）で構成する区政推進会議を 11 回開催しました。また、12 月には災害時の公所（署）間の連携を想定したツイッターによる情報発信訓練を実施しました。</p>	<p>総務課・企画経理室</p>
<p>職員オフサイトミーティングの実施</p>	<p>職員が職場の垣根を越え、アイデアを出して話し合い、明るく快適な区役所づくり、瑞穂区マスコットキャラクター「みずほっぺ」の周知を目標に、「みずほっぺ」を活用した窓口環境改善等の提案を行いました。</p>	<p>企画経理室</p>